

# 令和5年度福島県立湖南高等学校第3回学校運営協議会 議 事 録

❖日 時：令和5年10月5日（木）14：00～15：40

❖場 所：湖南高等学校 図書室

❖出席者

委 員（敬称略・順不同）

小山伝一郎、大内 紀男、片平 力也、山口 正国、和田 祐樹、薄 良枝、野口 智行  
（欠席：佐藤 忠男、石田 慶仁、満田 仁一、鈴木 勝美、桑名 秀一郎）

事務局

菊池由喜男、会田 房男、森 修、高柴 有一、熊田 厚志、渡部 実和子、五十嵐 稜

❖ 内容

1 開会のことば 菊池教頭

2 会長あいさつ

今回第3回となります。これからそばの収穫、3年生は就職試験が始まっており、慌ただしく行事が重なってお忙しいことと思います。欠席者も多いですが、皆さんの貴重な御意見を反映していけたらと思いますので、御協力いただければと思います。

3 校長あいさつ

一昨日、体育祭があり、天気にも恵まれ、無事に体育祭を行うことができました。有志のダンス発表では、中学校時代、なかなか学校に通えなかった生徒もいる中で、生徒全員が素晴らしいダンスを全校生の前で発表できました。

また、就職面接対策、大変お世話になりました。おかげさまで今のところほとんどの生徒が合格しています。本当にありがとうございました。

探究活動の2年生は、前回見ていただいた動画のアップが始まりました。郡山市とコラボし、今後も継続していけたらと考えています。

部活動もそれぞれ結果も伴いつつ、頑張っています。ボートの国体には藤原が出場し、コンマ数秒の差で惜しくも入賞は逃しましたが、本当に頑張ってくれたと思います。ソフトテニス部は新人戦、団体戦を突破しまして県大会に出場することになりました。山口所長さんも夏休み中、御指導いただきありがとうございました。

また、新しい取組みとしましては、焼き畑農業を研究している東京農工大とコラボしまして、先日卒業論文を作るためのインタビューの依頼を受けたところです。

PC部は資格取得にむけて頑張っているところで、音楽部は軽音楽のような形で少しずつ音の幅が広がってきています。

次にビブリオバトルについてですが、鳴原龍星が本校の代表として中通りの大会に出場し、優良賞を受賞しました。中通りの代表とはなりませんでしたが、これをきっかけとし、さらに後輩たちも続いてほしいと願っています。

その他、夏休み中の湖水浴のアルバイト、小中学校の学童のボランティア、湖岸清掃、キャンプボランティア、花いっぱい優良賞…など、子どもたちが活発に活動しています。皆様のバックアップがあってこそ、のびのびと取り組んでいることです。改めて御礼申し上げます。今後、経験を通して自分の力を伸ばして、卒業後、社会の役に立つ人材に育ってくれればと思っております。

今日の協議の中で、SNSやNoteの情報が皆様のお手元にどの程度入っているのかの

確認と、湖南高校だよりを含めて、本校のよさを広めるのにもっとなにか手立てがないか、皆さんから忌憚のない御意見をいただければと考えております。よろしく願いいたします。

#### 4 学校からの報告事項

- (1) 第2回学校運営協議会議事録 菊池教頭  
※資料P2～P5参照

(2) 令和5年度上半期の教育活動を振り返って

- ア 各部より下半期に向けた取組みについての報告 P6～P15参照  
イ 各委員からの御意見等の確認  
・教務部より P16参照  
・進路指導部より P19参照  
・生徒指導部より P20参照

<欠席の佐藤様より>

上半期の資料を見て全体的に数値が向上していて、先生方の指導のたまものだと感じている。「学校は充実していますか。」という質問に対して否定的な回答も見られるので改善するよう努めてほしい。学力についても肯定的な意見に改善できるように努めていただきたい。

- (3) 「蕎麦プロジェクト」及び「米粉大作戦」の取組み  
※P21～32参照

#### 5 協議

- (1) 湖南高校の魅力を生徒数確保に繋げるための取組みについて 菊池教頭  
※P32参照

3年連続で入学者が定数の半分以下になると存続について検討が必要になる。

今後も湖南小中学校の児童生徒数は減少傾向にあるため、郡山の他の地域からも受け入れられるようにしていきたい。だが現状、学校説明会は2校からしか呼ばれていない状況。本校の魅力、郡山市の他のコミュニティスクールとしての取組が各中学校に伝わっていない様子。

それを受け、現在の取組として、中学校訪問の際に本校で中学校時代不登校であっても高校で欠席せずに登校していることを伝えている。

今後の取組みとしては、湖南小中との連絡協議会で高校の説明会実施の協力を依頼する予定。

情報発信の方は、学校のHP、Note、Instagramで発信、郡山市のタグをつけている。ただ、そのような情報が皆様に届いているのか。新たな情報発信のツールがあれば御意見をいただきたい。

(2) 学校、地域の魅力化について

- ・雪灯籠祭り（仮）について 校長より概要説明  
2/5→2/8, 9に変更になる予定。
- ・空き家（地）を活用した雪像づくりなどもできるのでは（会長）
- ・福島大学の行政社会の学生とのコラボも可能である（和田氏）
- ・灯籠づくりに一般の参加者を募ってもよいのではないかと（薄氏）
- ・郡山市の観光課とも連携できるのではないかと（和田氏）

- ・空き家がどこにあるのか分からず、防犯上も課題がある。空き家をリスト化し活用することで課題を解決し、人を呼び込む一助となるとよい。
- ・雪像のほか、かまくらなどもあると子どもにうけるのでは（薄氏）
- ・将来的には行政や警察と連携し道路封鎖しての開催もよいのでは（和田氏）
- ・人を多く呼び込む上では駐車場の確保等も検討する必要がある（薄氏）
- ・湖南の住民にとって雪は苦痛でしかないが、郡山市内で本格的に雪遊びができる貴重な地域であるため、雪は大きな資源であり、恩恵として捉えるきっかけとなる。（薄氏・大内氏）
- ・実施には時間と労力を要する。まずは生徒の意思確認が大切。（会長）
- ・まずは高校生がどのように企画していくか。一気にすべて取り組むことは難しいが、徐々に大きな取組みにしていきたい。（校長）
- ・スノーモービルや犬ぞりなども面白さがあるのでは。（教頭）
- ・田んぼアートなどもよいのでは。（薄氏）

## 6 その他

- ・まずは生徒をどう増やしていくか。（会長）
- ・湖南高校の取組みを知る機会が少なかったが、それを校長先生がこちらから出向いで説明することは、これまで取組んでいなかったことだと思うので、良い取組みだと思う。あとは生徒や保護者がどう思うかが重要。進路もかなり前向きに進んでいる。まずは情報発信に注力してほしい。過去、不登校だった生徒が笑顔で卒業してく湖南高校をぜひ県全体に知ってほしい。（和田氏）
- ・下宿先、登校方法等を、地域と一緒に考えていかなければならない。（大内氏）
- ・不登校だった子たちが通えているのは、先生たちの関わりが大きい。少ないということは、それだけ手がかけられるという魅力である。（薄氏）
- ・入ってくれた生徒が落ちこぼれることなく、卒業していく。先生方の努力もあって笑顔で卒業していく姿を見ると、地域として湖南高校を守っていききたいし、教育委員会の方にも把握してほしい。下宿先などは難しいが、郡山市（交通政策課）からもバス交通費に対する支援があり、バスを確保できている。（会長）
- ・湖南高校生は自己肯定感がかなり高められて卒業している。（和田氏）
- ・新聞報道にもあるように、現在不登校生徒が激増している。生徒が生き生きと学習できる湖南高校に、湖南町としてそのような生徒を積極的に受入っていくことも必要ではないか。昔は下宿等も盛んに行っていた。今も声かけをすれば、2～3人程度は何とかなると思う。（大内氏）
- ➡長崎の対馬高校や壱岐高校のような事例もある。すぐにはいかないが、今後の検討課題とさせてほしい。（校長）

## 7 閉会のことば 菊池教頭

諸連絡 次回、第4回学校運営協議会は12月6日（水）です。よろしくお願ひします。